

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪アミューズメントメディア専門学校
設置者名	学校法人 吉田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ゲーム・アニメ・マンガ・イラストレーター・声優などのエンタテインメント業界で求められる人材を輩出するために、学科責任者と外部講師(実務経験者)が意見交換をおこない、授業内容や教材などを検討する。検討結果を元に授業計画(シラバス)を作成し、新入生を迎える前に実施する授業を担当する全講師が出席をする講師会で教務部長が、学校として育成したい人材を確認し、学科責任者が、担当講師に授業計画(シラバス)を配布し、講師と方向性の再確認をおこなう。当該年度のシラバスは前年度末までに公表公開されるものとする。	
授業計画書の公表方法	https://www.amg.ac.jp/syllabus/

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

1、成績会議の実施

8月中旬

1・2年生を対象に教務部長・学科責任者・学科担任が参加し、授業への出席率、課題の提出状況、作品評価、授業態度などを元に前期の単位認定および成績評価を決定する。成績不良の学生には、補講授業を実施し学生フォローをおこなっていく。

12月初旬

2年生を対象に教務部長・学科責任者・学科担任が参加し、授業への出席率、課題の提出状況、作品評価、授業態度などを元に卒業判定会議に向けた学生の状況の把握を目指す。成績不良の学生には、補講授業を実施し学生フォローをおこなっていく。

卒業判定会議

1月中旬に学校長・教務部長、学科担任が出席し、卒業に向けた単位取得状況を確認し、卒業判定をおこなう。卒業認定ができない学生（卒業単位未修得者）は、未修得の単位取得に向けた補講授業の設定など学生へのフォローをおこなっていく。

進級判定会議

2月中旬に学校長・教務部長、学科担任が出席し、進級に向けた単位取得状況を確認し、進級判定をおこなう。進級認定ができない学生は、補講授業の設定など学生へのフォローをおこなっていく。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 各科目の評価はシラバスに記載している評価方法を元に学科責任者、学科担当、科目担当教員の会議にて評価をおこなう。評価はA～Eとしている。成績判定会議を経て決定した成績評価を元（A…4、B…3、C…2、D…1、E…0）にGPAを作成している。 GPA評価は、 A…4～3.5、B…3.4～3、C…2.9～2.5、D…2.4～2.0、E…1.9～1とし、客観的な評価をおこなっている。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.amg.ac.jp/syllabus/2020/pdf/a_seiseki.pdf
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 科目出席率は66.7%以上と設定し、出席率を満たしていない学生の評価はおこなわない。ただし評価を希望する旨の申告が学生からあった場合は、補講授業や課題提出などにより、補填することがある。評価は「D」とする。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.amg.ac.jp/syllabus/2020/pdf/a_seiseki.pdf